

Inches 1 2 3 4 5 6 7 8

Centimetres

KODAK Color Control Patches

© The Tiffen Company, 2000

Kodak LICENSED PRODUCT

Blue

Cyan

Green

Yellow

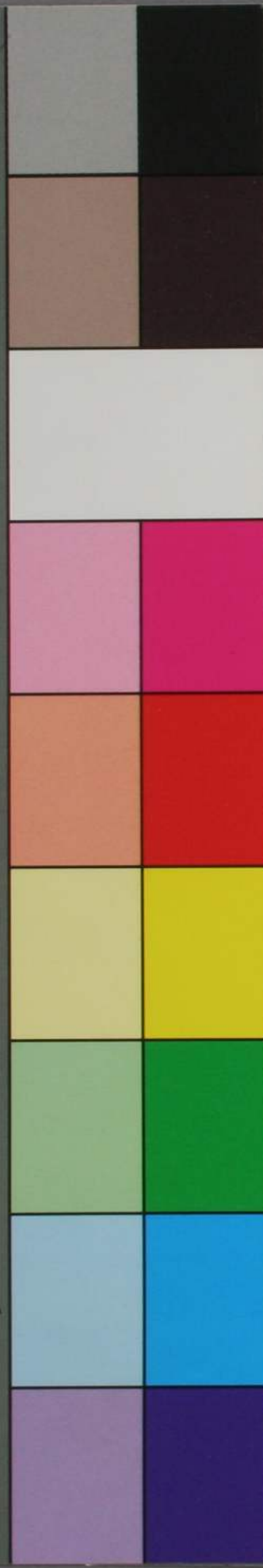
Red

Magenta

White

3/Color

Black



A

1

2

3

4

5

6

M

8

9

10

11

12

13

14

15

B

17

18

19



成  
七  
丁

具氏博物學

須川賢久譯

七

具氏博物學 卷七

286  
7  
= 1

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 1

286  
7

東京  
農學  
圖書

具氏博物學卷七

第二綱 禽類

緣木類

此目ノ鳥類ハ通例樹林ノ朽窩中ニ棲息シテ小  
蟲類果實ヲ餌食シ多クハ前後ニ四箇ノ勁爪ヲ  
具シテ攀登ヲ爲スニ甚能ク適應セリ夏間ニ  
啄木鳥屬キツノミ此屬ハ廣大ニテ體格壯健強ク動  
作スル數多ク鳥類ヲ包有ス此鳥類ノ林中ニ在

博物學

卷七

下

リテ枯木ヲ敲ク音聲ハ恰モ無數ノ工匠相集リ  
 テ工作ヲ爲ス響ノ如シ又此鳥類ハ堅牢ナル爪  
 ト雄勁ナル尾トヲ以テ樹木ヲ上下シ夏間ハ樹  
 皮ヨリ蠹蟲ヲ拾取<sup>ヒビク</sup>シテ之ヲ食ヒ時トシテハ子  
 實ヲ食フ者ナリ

此鳥類ノ嘴ハ堅牢ニシテ長ク鑿ノ如キ用ヲ達  
 シ之ヲ以テ善ク枯木ノ枝ヲ穿ツ者ナリ合衆國  
 ニ在リテ能ク認知セラレタル種類ヲ<sup>赤色頭啄</sup>啄  
 木鳥トス此鳥ハ櫻子ノ熟スル際大ニ之ヲ偷食  
 スル者ナリ又合衆國ノ草木園ニ尋常ノ者ハ鼓

第九百四十四圖



赤色頭啄木鳥

翼啄木鳥、高穴啄木鳥、高  
 棒啄木鳥等ノ數名及美  
 麗ノ斑點アル<sup>金色翼啄</sup>啄  
 木鳥等ニシテ此他尚同  
 國産ノ種ニ<sup>帽子形啄木</sup>啄木  
 鳥、多毛啄木鳥、象牙嘴啄  
 木鳥、<sup>毳毛啄木鳥</sup>毛啄木鳥等アリ  
 而シテ其外國産ノ種ハ

頗數多ナリ  
 此鳥ハ歐羅巴産ニシテ能ク啄木鳥ニ類  
 屬ス

博物志 卷二 二

似セリ頸ノ周回ヲモ纏繞スベキ許ノ長舌ヲ具  
 シテ能ク樹皮ノ小孔ヨリ小蟲類ヲ出シテ食ト  
 シ又蟻ヲ食ンガ爲ニ蟻樓ヲ損害スト云フ  
 杜鵑 此鳥ハ怯懦獨處ノ者ニシテ小蟲類ヲ食  
 ヒ他鳥ノ巢中ニ其卵ヲ放置スレ爲ニ著名ナリ  
 其種ハ世界ノ各所ニ數多アリテ歐羅巴ノ尋常  
 杜鵑ハ身長一尺五寸許羽ハ帶藍灰色ニシテ下  
 部ハ白色ナリ此鳥雌雄偕ニ棲處セスニ其卵  
 ヲ他鳥ノ巢中ニ一箇ツ、放置シ特ニ巧婦鳥及  
 鶺鴒ノ巢中ニ放在ス其卵ハ杜鵑ニ欺騙セラレ

タル鳥ノ孵ス所ト爲テ之ガ煦育ヲ受ク然レモ  
 此雛ハ同巢中ニテ孵サレタル他ノ雛ヲ巢外ニ  
 投シテ之ヲ殺シ恩ニ報ユルニ讎ヲ以テスト云  
 フ凡ヘテ杜鵑ノ啼聲ハ甚哀愁ナルモノニシテ  
 明白ニククウト云フ語ヲ發ス  
 亞米利加杜鵑即黃色雀杜鵑 此鳥ハ上部帶灰  
 褐色下部白色歐羅巴産ノ杜鵑トハ異ニシテ雌  
 雄偕ニ棲處シ深林中ノ小木ニ汚穢ナル巢ヲ造  
 構シ其卵ノ孵ルニ方リテ母鳥ハ間斷ナク雛ヲ  
 慈愛シテ以テ鼓翼シ跛ノ如キ形狀ヲ爲シテ巢

内ニ進入スル者ヲ防禦セント欲シ屢絞メ殺サ  
 ル、ガ如キ喉音ヲ發スト云フ  
 亞米利加杜鵑モ亦時トシテ其卵ヲ他鳥ノ巢内  
 ニ放置スルコトアリ其雄ハ「多ク」ト聞ユル單純  
 ノ音聲ヲ發スルニ因リ之ヲ亞米利加杜鵑ト名  
 ク此鳥又時トシテ哀愁ノ聲ヲ發シ或ハ番兵ノ  
 擊柝ニ類スル聲ヲ發スル者ナリ將ニ雨ヲシト  
 スルニ方リテ此鳥高調ノ聲ヲ發スルカ爲ニ兩  
 鵑ノ名アリ而シテ此鳥大ニ他鳥ノ卵ヲ打毀シ  
 テ之ヲ餌食スト云フ 煙囪眠語即黑色背杜鵑

前者ニ酷肖シ亞非利加ノ蜜蜂導者モ亦此屬中  
 ニ列ヤリ後篇蜂ノ章  
 「トウカン」此鳥種ハ南亞米利加ニ多クシテ其  
 嘴ノ巨大ナルコト殆ド全身ノ大サニ等シ又此種  
 中ニ其嘴ノ長サ六寸五分許厚サ二寸許ノ者ア  
 リ「赤色嘴トウカン」ハ上部黒色下部白色ニシテ  
 畿内亞及伯西爾ノ土産ナリ其羽ノ鮮麗ナルト  
 其肉ノ美味ナルトニ因リテ甚貴重セラル此鳥  
 夜間ニ至レハ數多群集會合シ其睡眠ノ間必一  
 隻ノ守鳥アリテ非常ヲ戒警シ頭ヲ左右ニ振テ

博物學 卷中 夕部

絶ズ聲ヲ發ス故ニ南亞米利加人ハ之ヲシテ說法者  
 ロウカントト名ク此鳥又樹木ノ孔窩ニ巢ヲ構ヘ  
 其大ナル嘴ヲ以テ巢口ヲ防禦セリ此鳥ノ仇敵  
 ハ數多アリテ特ニ蛇類獼猴類ハ最大敵タリ又  
 常ニ草木ヲ食ヒ偏脚ヲ以テ喬木ノ枝條ヲ跳躍  
 シテ群集スルヲ見ルコトアリ  
 鸚哥屬 此屬ハ頗廣大ニシテ皆攀登ノ助トナ  
 ル固有ノ嘴ノ造構ヲ以テ區別シ得可キ者二百  
 有餘種ヲ包有セリ此種ハ常ニ群居シテ大概ハ  
 光澤アル羽ヲ具シ暖地ニ棲息シテ枯木上ニ巢

第九百五十五圖



鸚哥

ヲ構ヘ種子及果實ヲ食フ又此  
 種ハ元來甚喧シキ不調ノ聲ヲ  
 發スレトモ善ク之ヲ馴養スル  
 時ハ容易ニ人語ヲ爲シ且樂調  
 ニ合スルコトヲ教ヘ得ヘシ  
 國ニノニ棲息スル種類ニ以テ國內ノ暖地ニ限  
 レル者ナリ身長一尺三寸許羽ハ光澤アリテ種  
 々ノ斑點ヲ帶ヒタリ  
 總ヘテ鸚哥屬ハ大河ニ接スル陰暗ノ樹林ヲ撰  
 ヒテ群居シ或ハ青々タル樹間ヨリ河邊ニ飛出

シ或ハ緑陰ニ集合シテ鳩ノ如ク互ニ頭ヲ掻キ  
 テ其愛情ヲ示スト云フ又樹林ノ朽窩ニ巢ヲ造  
 リ午熱ノ際ハ巢中ニ退隱ス亞非利加ノ灰色  
 鸚哥ハ身長一尺許其教易キト多辯ナルトト  
 聞キ得タル各音ヲ擬鳴スルトトニ因リテ著名  
 ノ者ナリ此鳥甚長命ニシテ其一例ヲ舉レハ嘗  
 テ籠中ニ在テ七十三年生存セシ者アリト云フ  
 又「バラキート」ハ鸚哥ノ小ナル種類ニ用井ル語  
 ナリ

鸚哥  
アムハ  
 マルトウ

此鳥ハ鸚哥ノ一種ニシテ頭上ニ美麗ノ

毛冠ヲ具シ其種三四箇アリテ亞細亞ノ摩鹿加  
 諸島及新和蘭等ニ棲息ス快辯ヲ以テ教フル時  
 ハ善ク文章ヲ話シ得ニシ而シテ皆沼池ヲ好ミ  
 テ常ニ種子及草木ヲ食ヒ羽ハ光澤ヲ帶テ其色  
 一ナラズ  
 マコシ 此鳥ハ鸚哥屬中ノ一ニシテ其種數多  
 アリ皆暖國ニ棲息シ新和蘭ニ三四種南亞米利  
 加ニ數種アリテ身長六寸乃至三尺許盡ク光澤  
 ヲ帶タル灰色ナリ常ニ群ヲ成シテ飛翔シ其聲  
 空中ニ充滿ス又其美麗ナル羽翰ヲ映帶シテ能

ク林中ヲ快暢ナラシムト云フ

第四目 鷄類

鷄屬

雄鷄ハ總ヘテ

家鷄變種ノ原種ニシテ

顧

フニ元來ハ亞細亞ヨリ傳播セシ者ナラン此鳥

普ク開化諸國ニ散布シテ其羽毛、鷄冠色彩一ナ

ラマ亞米利加ニ於テハ初メテ移住セシ人民ノ

齎シタル所ト云フ又印度及孤哇ニテハ羽色並

ニ容貌ノ多少異リタル野生ノ雄鷄アリ凡動物

中雄鷄ノ如キ勇氣ヲ有スル者ナシ故ニ世界ノ

各所ニ在テ鬪鷄ヲ一大遊戯トヒリ英國ニテハ

此戲昔時ノ如ク盛ナラザレドモ支那及印度ニ  
テハ現今王モ尚之ヲ樂トス愚ト云フ可シ

北鷄及其隣ヘシタル鷄類ノ  
雛水中ニ入ル



第九百六十六圖

北鷄、其性最モ可憐ニ  
シテ雛ヲ撫育スル注意  
ト雛ヲ防禦スル勇氣ト  
雛ノ爲ニ小蟲類及種子  
ヲ堀リ出ス勉強ト雛ノ  
爲ニ己ガ食慾ヲ慎ミ雛  
ニ食ヲ給スル爲ニ己ノ  
身ヲ顧ミザル下等ハ是



其性ノ最モ善美ナルヲ表スルニ足レリ又此鷄ハ能ク鴨類ノ卵ヲ孵ヘシ注意シテ之ヲ撫育シ其雛成長シテ稟性ニヨリ池水ニ入ルトキハ此鷄ノ狼狽驚駭スル情況實ニ奇觀ト稱スヘシ

第九百七圖



孔雀

孔雀 此著名ナル鳥ハ家鷄ト同日中ニ屬シテ印度ノ土產ナルドモ歐羅巴及亞米利加ニテ之ヲ養フコト既ニ久シ此鳥ハ性勇敢ニシテ爭鬪ヲ好ミ不調ノ銳

聲ヲ發ス身長四尺許羽ハ金色ヲ粧點シタル緑色ニシテ尾羽甚長ク其端ニ眼様ノ美象ヲ粧飾セリ蓋此尾羽ハ首飾及他人裝飾ノ用ニ供ス可シ又此鳥ノ腦ハ昔時羅馬國美食家ノ甚嗜スルモノニシテ當時頗之ヲ貴重セリト云フ孔雀ハ前者ニ類似シテ頭上ニ聳毛冠ヲ具ヘタリ

第九百八圖



クラッソウ

クラッソウ 此鳥ハ南亞米利加ノ產ニシテ其種甚多ク皆雉ニ類似セリ身長ハ小ナル墨西哥鷄ノ如クシテ大抵ハ隨意ニ起伏スベキ

毛冠ヲ頭上ニ戴ケリ南亞米利加ノデメラリア  
 ニ於テハ林生家畜トモニ甚多ク其餌食ハ家鷄  
 ノ如シト云フ毛冠「グラスウ」ハ光澤アル帶綠黑  
 色ナリ著塊「クラスウ」即墨樹「カカ」  
 墨樹子ノ如キ藍色ノ瘤狀ノモノヲ具シ羽ハ光  
 澤アル藍色ニシテ翼ハ白色ナリ「剃刀嘴」  
 「グラスウ」ハ嘴上ニ銳又ヲ具シタル角様ノ物アリ故ニ  
 之ヲ「剃刀嘴」クラスウト名ク  
 「グラスウ」即「ヤユウ」此鳥ハ大ニ「グラスウ」ニ類似  
 シテ「グラスウ」ノ如ク容易ニ養馴スベシ大サ家

鷄ノ如クシテ身長ハ少シ長ク常ニ林中ニ在リ  
 雌雄偕ニ棲メリ此鳥ハ鷄鴨類ト共ニ飼畜セラレテ  
 墨斯哥鷄トルキ

墨斯哥鷄



第九百九圖

世人ノ能ク認知セル處ナレ  
 氏其初亞米利加ニ於テ發見  
 シタル者ナリ現今新英蘭ニ  
 ハ野生ノ者稀少ナレドモ合  
 衆國西方ノ林中ニハ數多群  
 フ成テ棲息ス云フ又野生  
 ノ墨斯哥鷄ハ合衆國「メキシ

ンチチ及其他西方市街ノ市場ニテ尋常ノ者ナ  
 レ其肉味ハ家畜ンタルモノ、如ク美ナラス  
 野生ノ墨西哥鷄ハ家畜ノ墨西哥鷄ノ如ク性怯  
 懦ナレトモ行歩スル状態ハ恰モ矜莊ニ歩ム粒  
 拾子ノ如シ常ニ蟻種子、子實等ヲ餌食シ人時ト  
 シテハ一群ヲ連ネテ旅行スルコトアリ若シ行程  
 ニ大河アレハ岸頭ニ集合シテ恰モ會議ヲ起セ  
 ル者ノ如シ此時雄鳥ハ進前シテ大言ヲ吐キ腮  
 肉ヲ赤クシテ長キ演說ヲナス此喧鬧終リテ後  
 一群盡ク河ヲ越エテ飛翔ヲ始ム或ハ水中ニ落

レトモ大概溺ル、コトクシテ對岸ニ達シ得ル  
 者ナリ其嶋鳥ニ至リテハ政學ヲ辨知セザル故  
 カ斯ノ如キ公會ニ臨ミテ說ノ發スル者甚稀ナ  
 リト云フ  
 珠鷄ホロホロ即ペンクドグレイヤシ此鳥ハ亞非利加及其近傍諸  
 島ノ土産トレドモ當今ハ歐羅巴及亞米利加ニ  
 モ畜養セリ羽ハ帶灰藍色ニシテ白色ノ小斑點  
 アリ頭並ニ頸ノ上部ハ裸體ニシテ灘ト墨西哥  
 鷄トニ類似セリ其土産ノ國ニ於テハ常ニ餌食  
 ヲ索ムル爲ニ雛ヲ携ヘタル數群ヲ見ル其啼聲

ハ嚴烈ニシテ且ツ不快ナリ

雉屬 此屬ニ列スル鳥類ハ皆亞細亞ノ土産ニ

シテ屢林木多キ地方ニ來リ種子及小蟲類ヲ餌

食シテ地上ニ粗造ノ巢ヲ造構スル者ナリ從來

亞細亞ヨリ傳播シタル尋常雉ハ現今東大陸ノ

南部ニ散布セリ此鳥ハ甚美麗ニシテ身長三尺

許甚長キ尾ヲ具レ羽ハ綠藍白黑紫金等ノ各色

ヲ錯雜シテ英蘭及蘇格蘭ノ遊獵場ニテ尋常ノ

者ナリ錦鷄ハ身長二尺九寸許支那ニ棲息シテ

雉種中最モ美麗ノ者ナリ環頸雉モ亦支那ノ土

第十四圖



産ニシテ頸ノ周圍ニ白色ノ環

アリ又印度ニモ一二種アリニ

其中ノ鷓鴣ハ甚美麗ナリ亞米

利加ノ縵領雉鳩ハ合衆國中

央及南方諸州ニテ雉ト名ク

雉鳩屬

此鳥屬ハ大概山國ノ大林ニ棲息ス

ドモ或ハ平地ヲ撰ム者アリ性怯懦ニシテ且粗

暴常ニ子實芽苞木葉等ヲ餌食ノ其聲頗高調ナ

リ思フニ其肉ハ諸鳥ニ卓越シタル者ナラシ又

此鳥屬ノ主眼ナル種ハ歐羅巴ノ黑雞及樹鷄亞

第一千圖



羽形雉鳩

米利加ノ縐領雉鳩羽形雉  
 鳩斑點雉鳩銳尾雉鳩並ニ  
 兩大陸ニ産スル白色雉鳩  
 水揚雉鳩等ナリ  
 縐領雉鳩ハ新英蘭ニテ  
 鳩ト名ケ合衆國南方ニテ  
 雉ト呼フ此鳥亞米利加ノ  
 各所ニ夥多ナリ羽形雉鳩即「ベートト、ヒ」ハ馬沙  
 諸些大島中ノ某所紐折爾西ノ「ロング、ア」ラン  
 及西方諸州等ニ棲息ス白色雉鳩即「松」ハ歐

羅巴ニテ蘇格蘭及威爾斯ノ如キ地方ニ棲息ス  
 一ドエ亞米利加ニテハ北方地方ニ限レリ樹  
 ハ雉鳩種中ノ最大ナル者ニシテ身長二尺九寸  
 許東大陸ノ北方ニノミ棲息セリ  
 鷓鴣 此鳥ハ群居スル鳥類ノ一屬ニシテ常ニ  
 種子ヲ食ヒ飛翔スルヲヨリモ駈走フルヲ却テ  
 多ク其起立フルヲ甚難シ飛翔ノ際ハ翰音アリ  
 其肉味甚美ナリ歐羅巴ノ鷓鴣及鷓並ニ合衆國  
 ノ鷓ハ世人ノ最モ好ク認知セル種類ナリ  
 鷓 歐羅巴ノ鷓ハ大ク殆ド鷓鴣ノ半ニシテ割

甘  
甘  
甘

烹ニ供シ甚貴重セリ此鳥ハ遷移スル者ニシテ  
殆ド東大陸ノ諸國ニ棲息ス亞米利加鷓ハ身長

第一千二圖

亞米利加鷓



九寸許帶褐灰色ニシテ  
黑色ノ斑點アリ北亞米  
利加ノ各所ニハ尋常シ  
者ニシテ歐州ニ如  
ク遷移セズ通常曠野ニ  
棲息シ穀物種子小蟲類  
ヲ食ス其啼聲ハ「ボグ  
ワト」ト響ク處ノ二聲ヲ

發スト云フ又多雨ナル時ハ「モートル、ギツト」モ  
ル、ギツトト叫ブト云フ合衆國中ニテ世人ノ認  
知スル者ハ只此一種アルノミカリフォルニア鷓ハ頭  
上ニ毛冠ヲ具シ尋常鷓ヨリ小ニシテ頗美麗  
鳥ナリ

鷓屬 此鳥屬ハ其種甚數多ニシテ全地球ニ散  
布シ溫和親狎ノ風習アル者ニシテ常ニ夥ク群  
集シ茂林或ハ高キ家屋ニ巢ヲ造構レ穀物及種  
子ヲ食ヒ「クウ、」唱フル哀聲ノ外更ニ聲ヲ發セ  
ザレドモ其愛情一恒心アルガ爲ニ著名ナリ歐

鳥

鷓

鳥

鳥類學 卷七

第一千三百圖



幹鴿

幹鴿 ストロウド 此鳥ハ諸畜鴿變種ノ原種ニシテ其一ハ傳書鴿是ナリ能ク甲所ヨリ乙所ニ書翰ヲ遞送

羅巴ノ環鳩即クトシタトハ帯藍灰色ニシテ一尺七寸許ナリ斑鳩ハ身長一尺一寸許歐羅巴ノ氣候温和ナル砂地ニ棲息シテ夏間英國ニ來ルト云フ又詩人ハ温和愛情ナルヲ述ルニ善ク此鳥ヲ賦スト云フ

スル爲ニ此鳥ヲ使役スト云フ

第十四圖



旅客鴿

野鴿即旅客鴿

合衆國ニテ世人ノ能ク認知セル美麗ノ鳥ニシテ身長一尺六寸許飛翔迅速ナルガ爲ニ著名ノ者ナリ此鳥春天ニ至レバ南方ニ行キ秋天ニ及ヒテ復歸來ルト云フ且時トシテハ數百萬隻群集スル者ナリ合衆國西部ノ林中ニテ此鳥ノ産スル所ニハ啼聲相絶エズ其響遠雷ノ如ク或ハ

鳥類學 卷七

鳥類學

鳥類學 卷七

飛瀑ノ如クニ開ユルホド夥多群集スルヲアリ  
ト云フ

「カロリナ」<sup>カ</sup> 此鳥ハ容貌前者ニ類似スレドモ  
體稍小ニシテ夏開屢砂路ノ邊ニテ雌雄相伴フ



第五千圖

ヲ見ルヲアリ又時トシテ  
ハ之ヲ斑鳩ト名ツク其他  
合衆國ニテ發見シタル種  
類ハ南方諸州ニ産スル  
「タイ」<sup>タイ</sup> 並ニ地鳩、岩石山ニ産  
スル「<sup>タイ</sup> 帶尾鳩」西印度及佛勒

里達ニ産スル 白色冠鷓等ナリ

第五目 長脚類

此目ハ著ルキ數多ノ鳥類ヲ包有シテ其中ニ羽  
族最大ノ駝鳥アリ蓋目中ノ鳥類多ハ皆長脚ヲ  
具シ羽ヲ濕ラサスレテ善ク水中ヲ徒渉スル  
ニ適應セリ過半ハ皆魚類ヲ餌食スレドモ或ハ  
水邊ニ棲息セズレテ穀物及小蟲類等ヲ食フ者  
アリ

野ニ棲息シ蟲類、草、小蟲類ヲ食ヒテ甚ク迅速ニ驅



博物學 卷七

走レ又其脚ヲ後方ニ伸バシテ飛翔スレドモ只  
少シク地上ヲ離ルハノミ又駝鳥ハ世界中ノ最  
大鳥ニシテ高サ及長サ共ニ八尺ノ者往々之ヲ

第一千六圖

駝鳥  
オストリチ



リ駝鳥ノ羽ハ黒色ニシテ白  
色ト灰色トヲ交ヘ其體羽ハ  
長クシテ波ノ如ク動キ翼羽  
ト尾羽トハ婦人衣服ノ粧飾  
ニ用ヰルヲ以テ甚價アリ而  
シテ其皮ハ甚厚キガ故ニ亞  
非利加ノ鬪争ヲ好ノル人種

ハ之ヲ以テ捕並ニ鎧ヲ造ルト云フ其巢ヲ造ル  
ニハ砂地ノ穴中ニ於テ卵ヲ大サ殆ド小兒ノ頭  
ノ如ク一個ノ重サ大凡三ポンドアリ味甚ク美  
ナルヲ以テ之ヲ種々ノ食物ニ料理スト云フ  
尋常駝鳥ハ亞非利加及亞刺比亞ノ土産ニシテ  
往古ノ人ハ之ヲ駝鳥ト名ク土人ハ駿馬ニ騎  
テ之ヲ獵狩スト云フ其技ハ熟練ト勇氣トヲ以  
テ須要トス又時トシテハ之ヲ馴致レ少年輩ハ  
之ニ騎スルヲアリト云フ  
レア即トウヨウ 此鳥ハ駝鳥屬ノ一ニシテ往

博物學 卷七

文部省

々亞米利加駝鳥ト名ク長サ高サ共ニ六尺許羽  
 ハ白色ニシテ翼ハ灰色ナリ他戎尼ニ棲息シ  
 テ土人ハ往々蹄網ヲ用井テ之ヲ捕フト云フ  
 食火鷄 此鳥ハ頗駝鳥ニ類似セル者ニシテ身  
 長五尺五寸許體ハ黑色ノ毛ヲ被リ頸ト頭トハ  
 羽毛ナクシテ淺藍色ナリ其脚ハ筋多クシテ翼  
 ハ飛翔ニ適應セス頭上ニ角様ノ瘤ヲ具有シ郊  
 原及沙漠中ノ草類種子小蟲類ヲ食ヒ甚迅速ニ  
 駝走スル者ナリ其種ニアリ亞細亞諸島ニ棲息  
 スルカサリス、ウルクアリ、ス並ニ新和蘭ニ棲

息スルカサリス、ウルクアリ、ス、ノ、ダ、ホルラ、ン、ド、是ナリ  
 鴈 此鳥ハ駝鳥ノ屬ニシテ身長六尺許體ハ  
 褐色ト灰色ト混ジタル毛ヲ被リ下部ハ青白色  
 ニシテ頭ト頸ト翼トニ羽ヲ被レリ此鳥ハ新和  
 蘭ノ土産ニシテ草木及果實ヲ食ヒ迅速ニ駝走  
 シテ性甚兇暴ナリ蓋此鳥ハ肉ノ爲ニ獵取スル  
 者ニシテ其味ノ好美ナル、牛肉ニ似タリト云  
 フ  
 鳥 此鳥ハ新和蘭ノ一奇鳥ニシテ翼ノ代ニ  
 小爪ヲ具シ高サ二尺許ニシテ羽毛褐色ナリ此

第一千七百七十七圖



鳴雞  
アモウシ

鳥ハ甚稀少ニシテ善ク其身ヲ  
衛ルベキ具ヲ備ヘザル故ニ容  
易ニ捕獲セラレ、者ナレバ恐  
クハ遂ニ其種ヲ滅盡スルニ至  
ルヘシ

「ズウ、ズウ」此鳥ハ昔時馬達加斯及モウリ去リ  
スニ棲息セ、拙劣ナル大鳥ナレドモ現今ハ其  
種滅盡セリト云フ  
此鳥ハ歐羅巴ニ棲息シ、駝鳥ト家鶏トノ中  
間ニシテ鬱抑粗暴極ノテ怯懦ナリ、大鷄ハ身長

第一千七百八十八圖



「ズウズウ」

三尺三寸許、帶藍灰色ナリ、翼  
蘭及蘇格蘭ノ廣野ニ來リ子實  
穀物、小蟲類ヲ食フ、獵人ノ爲ニ  
狩ラル、トキハ地上ニ觸レテ

飛翔スト云フ、小鷄ハ前者ニ似テ身長一尺五寸  
許ナリ、其他尚數種アレトモ亞米利加ニ棲息セ  
ズ

信鳥  
此鳥ハ遷徙鳥ノ一屬ニシテ常ニ群ヲ成  
シ、隊ヲ聯テ他邦ニ遷徙シ、蟲類及小蟲類ヲ食フ  
尋常綠色信鳥即金色信鳥ハ殆ド世界ノ各地ニ

棲處シテ春及初秋ハ亞米利加ノ海岸ニ居リ晝  
間ハ安穩ニ集合スレドモ黄昏ニ至レバ離散シ  
テ別個ニ睡眠ス此鳥ハ屢遊獵人ノ鳥笛ノ爲ニ  
欺カル者ニシテ其肉ハ甚價アリ

弱信鳥 此鳥ハ夏間合衆國海邊ノ砂地ニ

居リ維孫信鳥ハ氣候温和ナル間ハ罕ニ合衆國

ノ中部及南方諸州ニ棲處スギルジール信鳥ハ

政學者ノ如ク喧噪シテ歌ザル者ニシテ其傍ヲ

通行スル人ニ向ヒテキルジールト呼ベル名ヲ

號哭スト云フ

水喜鵲即長脚信鳥 此鳥ハ歐羅巴及亞細亞ニ

長脚信鳥



第一千九百圖

棲處スル者ニシテ亞米利加ニモ  
亦一種アリ善ク水中ヲ徒涉シ巧  
ニ游泳ヲナス者ナリ歐羅巴及亞  
米利加ニハ此鳥ノ種數多アリ

計里和 此鳥ハ歐羅巴産ニシテ身長一尺二寸

許上部深綠色下部白色其頭ハ黑色ナリ常ニ蟲

類ヲ餌食シ雛ヲ産シテ之ヲ追逐セラル、片ハ

其雛ヲ遁逃セシムル爲ニ種々ノ欺詐ヲ行フト

云フ又此鳥ハ沼中ニ在テ其卵ヲ孵ス者ナリ

十寸鳥

文部省

都鳥シヤコドリ和名

屬 此屬ハ蠟壳ノ開キタル時嘴ヲ壳中ニ挿入シテ牡蠣ヲ食フニ因リ此名ヲ得タル者

ナリ常ニ海邊ニ棲息シ波浪ニ浮沈シテ海中ノ

小蟲類及ヒ牡蠣ヲ搜索シ大洋近傍ノ沼地ニ於テ

雜草ノ生スル處ニ巢ヲ造構ス此鳥屬ハ性皆怯

懦ニシテ速ニ飛翔逃走シ銳キ叫聲ヲ發シテ善

ク返響スト云フ

雜色都鳥

此鳥ハ兩大陸ノ北部ニ棲處シテ身

長八寸許上部黒色下部白色嘴ハ光澤アル橙色

ニシテ長サ三寸五分許ナリ此鳥更ニ二種アリ

一ハ南亞米利加ニ棲シ一ハ亞非利加ニ住ス

共ニ前者ヨリ大九リハ大ニシテ

鶴屬 此屬ハ脚ノ長キト身幹ノ甚高キト

ニ因テ區別シ得可シ而テ其種數多ナレドモ歐

羅巴土産ノ者ハ只一ノニ屬沼澤アル地方ニ來

往シテ草類種子及蟲蛙等ヲ餌食ス又此屬ハ大

群ヲ成シテ遷徙スル者ニテ清亮ナル鳴聲ヲ發

シ夜間ニ方リテ遠ク旅行ヲ爲ス此旅行ヲ爲ス

ニ長三角線ニ列ヲ立テ其先頭ノモノ全列ヲ嚮

導スト云フ

十才鳥

尋常歐羅巴鶴 コシモン 此鳥ハ身長大概三尺乃至四尺

許ニシテ羽灰色ナリ カマノツル 髻鶴ハ羽淺藍色翼白色ニ

シテ頭黒ク黄色ノ鷄冠ヲ戴キ姿態美麗容貌温

雅ニシテ體格モ亦之ニ適スルヲ以テ著明ナル

者ナリ其飛翔スルトキハ翼ヲ展開シテ甚迅速

ナリ又此鳥ハ孔雀ニ肖タルヲ以テ時トシテハ

海孔雀ト名クト云フ亞非利加ノ海岸及ケイプ

タウン諸島ニ棲息セリ イニシ 良傳ノ鳥高キ

叫鶴即白鶴 和名 此鳥ハ威風アル者ニシテ羽白

色翼少シク黒ク長サ四尺許高サ五尺許アリ此

亞米利加ノ各所並ニ西印度諸島ニ棲息シテ他

ノ鶴類ハ如ク瀕海ノ沼澤及不潔ナル土地ノ中

央ニ來リ蟲類爬蟲類魚類等ヲ餌食ス其食ヲ搜

索スルトキ沼澤ニ浴セテ泥土ニ觸レテ甚低飛

ヲナス又時々高調ノ叫聲ヲ發スルニ因リ之ヲ

叫鶴ト名ツク此鳥南方ニ遷徙スルニ方リテ群

集飛翔スルルハ其轟響人ヲシテ殆ド耳ヲ聳セ

シ△此遷徙ヲ爲スハ夜間ニシテ西印度ノ方向

ナル米向悉此河邊ニ至テ相止リ此所ニ冬ヲ過

スト云フ

博物考

卷之二

五

鳥部

博物學 卷七

文部省

褐色鶴 此鳥ハ前者ニ類似シ北亞米利加全洲  
 ニ散布シテ羽ハ帶黒褐色ナリ大白色鶴ハ東佛  
 勒里達ノ沼地ニ棲息シテ容貌及習作ハ叫鶴ニ  
 似メリリ<sup>イミンクラン</sup>ニシヤ<sup>イミンクラン</sup>鶴 ア子ハゾル  
 夫人ト名ケ甚稀少ナル鳥ニシテ亞細亞及亞非  
 利加ニ棲處シ身長三尺許帶藍灰色頭黒クシテ  
 其上ニ美麗ナル白羽アリ體體ノ運動屈曲ハ甚  
 奇異<sup>イミンクラン</sup>ニシテ<sup>イミンクラン</sup>方ハ翼ヨリハ他ノ方ハ翼ヲ上  
 方ニ曲ケテ回轉シ船舶ノ帆ヲ揚タル形狀ヲ爲  
 シテ前方ニ進<sup>イミンクラン</sup>或ハ後方ニ退キ恰モ此所爲<sup>イミンクラン</sup>

見ル人ヲ<sup>イミンクラン</sup>テ娛樂セシムル者ノ如シ  
 刺<sup>イミンクラン</sup>以鳥 此鳥ハ南亞米利加ニ産スル鶴ノ一種  
 ニシテ低深ノ音調ヲ發スル爲ニ有名ナリ且大  
 ノ如ク愛情ニ感シ易クシテ<sup>イミンクラン</sup>家禽欄内ノ事ヲ處  
 スルニ甚熟練シ能ク欄内ノ事ヲ命令スト云フ  
 其走ル<sup>イミンクラン</sup>ハ頗速ニシテ樹下ニ巢ヲ構造スル者  
 ナリ  
 擬嘴鳥 此鳥ハ南亞米利加ノ沼澤ニ棲息シテ  
 赤色ノ腹ト褐色或ハ灰色ノ脊トヲ具シ大サ牝  
 鶏ノ如ク其長キ毛冠ト甚大ナル嘴トヲ有スル

博物學 卷七 五 文部省

鳥類學 卷七

第十圖



艇嘴鳥

爲ニ著名ナリ嘴ハ頗平匾ニ  
シテ其形恰モ二箇ノ食セ  
合セタルガ如シ

鷺屬 此屬ハ湖水河流ノ岸

邊或ハ沼池ノ中ニ棲息スル鳥類ニシテ魚類野

鷺鼠モリス小爬虫等ヲ餌食シ脚ト嘴トハ長シ大群列

ヲ立テ遷徙ス亞米利加ノ大鷺ハ大西洋ノ諸州

ニ棲息スレドモ尋常ノ者ニハ非ズシテ身長四

尺四寸許其最愛スル所ハ陰暗ナル沼地ナリ

蒼鷺アササギ此鳥ハ東大陸ノ諸國ニ散處シ湖河沼池

第十圖



鷺屬

等ノ近林ニ住マテ水中

ヲ徒涉シ潤ムベキ形狀

ヲナシテ餌食ヲ索ムル

者ナリ其雌ノ卵ニ孵ス

トキ雄鳥ハ魚類ヲ捕獲

シテ之ヲ雌鳥ニ分與ス

云フ其他外國産ノ種

ハ純白ナル小白鷺夜鷺尋常五位鷺和名等ナリ大

白鷺即大鶴子ハ羽毛純白身幹亭々トシテ雅致

アル鳥ナリ兩大陸共ニ棲處セリ

博物志 卷七

三五

文部省



鳥類學 卷之七 鷺

亞米利加産ノ鷺種左ノ如レ

亞米利加夜鷺即脊黒五位鷺名和怯懦ナル夜鳥

ニシテ遠隔シタル陰暗ノ沼池ニ充滿シ喉ヲ絞

ルガ如キ煩悶ノ聲ヲ發ス此他雪鷺名和ロシアナレ鷺

白冠鷺藍色鷺亞米利加五位鷺綠色鷺最小五位

鷺南亞米利加産ノ「エガ」鷺等ナリ

五位鷺名和此鳥ハ外國及内國トモニ數種アリ

テ皆鷺屬即「アルデア」ニ屬シ大概鹹水及淡水ノ

沼池ニ棲息シテ魚類蛙類蝸牛蟲類等ヲ餌食ス

尋常歐羅巴五位鷺ハ身長二尺四寸許夜間ニ至

第一千二百一十圖



第五位鷺

レハ一里ヲ隔テ、聞キ得

キ叫聲ヲ發シ人ヲシテ愁寂

憂悶ノ感覺ヲ起シテ戰慄セ

シタル者ナリ亞米利加五位

鷺ハ此亞米利加ノ各所ニ棲

息ス屢ホストン近傍「フレ」スト「ポンド」ノ邊ニテ

見ル者ナレドモ晝間ハ之ヲ見ルヲ甚罕ナリ其

叫聲ハ「ポン」プ「アガ」ト呼フ處ノ空ニキ音ヲ發

スト云フ

綠色鷺即綠色五位鷺 此鳥モ亦亞米利加産ニ

鳥類學 卷之七 鷺 三十四

鳥類考 卷之七

文音

シテ晝夜トモニ飛翔シ好ミテ陰暗ナル沮洳地  
方ニ住ス河岸ニ於テ屢之ヲ見ル<sub>ル</sub>ア<sub>レ</sub>凡<sub>レ</sub>吾輩  
ノ曾テ記載セザル名稱ノ者アリスミ小五位鷺ハ前  
者ヨリ僅ニ小ナル者ニシテ合衆國ノ中部ニ棲  
息<sub>ス</sub>最小五位鷺ハ身長一尺許沈黙ナル鳥ニシ  
テ合衆國及西印度ノ淡水河畔ニ棲息ス

鶴屬 コラトリ 此屬ハ沼澤地方ニ棲息シテ蛙類魚類鳥  
類等ヲ餌食シ大郡ヲ聯子テ遷移ス之ヲ馴致ス  
レ<sub>テ</sub>容易ナル者ナリ歐羅巴ノ尋常鶴ハ羽白色  
身長三尺六寸許和蘭ニナ<sub>ル</sub>ハ此鳥常ニ家屋ノ周

第十十三圖



マラボウ<sub>ノ</sub>鶴

圍ニ居テ屢屋上ニ巢ヲ構  
フト云フ此鳥決シテ人ニ  
厭惡セラ<sub>レ</sub>ザルノミナラ  
ズ世人此鳥ノ住ム家ニハ  
幸福アリト考定スルニ至ル又此鳥ノ他ニ其種  
二三アリ即<sub>チ</sub>マ<sub>ラ</sub>ボ<sub>ウ</sub>鶴スダ即鵝鷺ハ亞非利加ノ暖  
地ニ棲息シテ極メテ大ナル嘴ヲ具レ勉テ腐肉  
ヲ食ヒテ掃除ス而シテ其羽ハ首飾ニ供スル爲  
ニ甚價アリ

圈鶴 此鳥ハ鶴種ニ類似シテ身長六尺許少シ

鳥類考 卷之七 五

博物志 卷七

文部省

カ上方ニ曲リクル一尺一寸長ノ嘴ヲ具シ常ニ  
魚類、爬虫類ヲ餌食シテ南亞米利加ニ棲息スル  
者ナリ此他尚世界ノ各所ニ數種アリト云フ  
木鷓鴣 此鳥ハ大サ鷓ノ如クシテ少シク瘠タ  
ル者ナリ屢渾濁ナル河水ニ集リ多クハ鰻鱺ヲ  
餌食スル者ニシテ南北亞米利加ニ棲息ス  
漫畫 此鳥ハ水鳥ノ一屬ニシテ鷺ニ類似シ長  
脚ヲ具シテ嘴ハ極メテ大ナリ其嘴頭ハ圓圓ナ  
ルヲ恰モ匙ノ如シ常ニ小群團聚シテ介類、小蟲  
類、蟲類等ヲ餌食ス 紅色漫畫ハ身長二尺六寸許

第一千十四圖

鷺



ニシテ其棲處ハ亞米利加ノ温  
暖地方ノニニ限レル者ナリ外  
國ニモ亦其種ニアリト云フ  
アイビス即朱鷺屬 此屬ハ屢江湖ノ邊ニ來リ  
蟲類、小蟲類、介類、植物等ヲ餌食ス且此鳥ノ某種  
ハ世界ノ各所ニ棲息スル者アリ 深紅色アイビ  
スハ亞米利加ノ暖地ニ住ミテ身長二尺許羽ハ  
光澤アリテ種々ノ飾ニ供スト云フ 白色アイビ  
スハ羽色ヲ除ノ外前者ニ類似シテ同國ニ棲息  
セリ 赤色アイビス即光澤アイビスハ身長二尺

博物志 卷七 三十五

許光澤アル赤色ニシテ殆ト世界ノ各所ニ棲息  
 ス又埃及ニ産スル深紅色アイビスハ羽白色ナ  
 リ右ノ外諸國ニ木アイビスノ種類四種アリテ  
 其一ハ亞米利加ニ棲息セリ  
 杓鷓キギ和名屬 此屬ハ性怯畏縮ノ者ニシテ常ニ  
 海邊ニ居リ曩沼池ニ來テ蟲類蛙類介類ヲ餌食  
 ス其聲調ハ低沈悲哀ニシテ恰モ笛聲ノ如シ且  
 此鳥種ハ數多アリテ全世界中ニ散布シ其三種  
 ハ東大陸ノ土産ニ屬シ其三種乃至四種ハ亞米  
 利加ノ土産ナリ

歐羅巴尋常杓鷓 此鳥ハ身長二尺許長サ五  
 六寸ノ嘴ヲ具シテ羽ハ灰色ナリ此嘴ハ砂中ヨ  
 リ蟲類及小蟹ヲ撰出スルニ適應シ亦身ヲ守  
 ルノ器トモテハナリ長嘴杓鷓ハ身長二尺五寸  
 許長サ七寸許ノ嘴ヲ具シ羽帶黒褐色ニシテ各  
 色ノ斑點アリ北亞米利加洲中ニ棲息ス  
 石ノ鳥類ハ皆鴻雁ノ如ク迅速ニ高翔スル者ナ  
 リ其飛ブ時ハ杓鷓ニ類似シタル高調ノ短聲ヲ  
 發シ常ニ小蟲類蟲類小蟹等ヲ餌食ス此諸鳥ノ  
 肉ハ割烹ニ供シテ甚貴重スト云フ

「イスクモウ」杓鷓即短嘴杓鷓 此鳥ハ酷歐羅巴  
 産ノ「ウヅ」ニ肖テ身長一尺五寸許長廿三寸  
 許ノ嘴ノ具シテ帶褐黑色ナリ其習作ハ長嘴杓  
 鷓ノ如クシテ數百隻相共ニ遷移シ其餌食モ亦  
 之ト同シクシテ其肉ハ美味ナリ  
 小「イス」モウ「杓鷓」一此鳥ハ身長一尺四寸許長  
 廿二寸餘ノ嘴ヲ具シテ羽帶褐黑色ナリ此鳥ハ  
 他ノ杓鷓ノ如ク群居シ其飛翔セント欲スルハ  
 「ビ」ト云フ語ノ音調ニ類似セル響アリ此  
 鳥亞米利加大陸ノ各所ニ棲息スル者ナリ又

「ブン」ハ歐羅巴ニ産スル杓鷓ノ種ナリ  
 此屬ハ小鳥ノ一屬ニシテ長嘴ヲ具シ其  
 習作ハ皆夜間ノ者ナリ通常森林沼澤ニ棲息シ  
 テ蟲類小蟲類ヲ索メンガ爲ニ淤泥ヲ衝キ時ト  
 シテハ林間ノ墜葉ヲ撩亂ス此屬ノ種類ハ甚數  
 多ニシテ全世界中ニ散處スレドモ寒帶及温帶  
 地方ヲ選ヒテ地上ニ巢窩ヲ造構ス其肉味ハ殆  
 ド他ノ諸鳥ニ卓越セリト云フ亞米利加鷓即維  
 深鷓ハ酷尋常歐羅巴鷓ニ肖テ亞米利加大陸ノ  
 各所ニ棲息ス身長一尺一寸許ナリ其他歐羅巴

博物志卷七

及亞米利加ニ尚數種アリ

山鵲名和 此鳥ハ鵲ト同屬ニシテ鵲ニ類似シ大

サ殆ト鵲ノ如ク長サ三寸許ノ嘴ヲ具ヘ脊ニハ

黒色ト褐色トノ斑點アリ此鳥飛騰スルハ翼

ヲ鼓シテ音響ヲ發シ僅ノ距離ヲ迅速ニ飛テ然

ル後隕石ノ如ク突然落下ス又能ク泥中ヨリ蟲

類及小蟲類ヲ引出シテ之ヲ餌食スト云フ此鳥

ノ肉味ハ甚美ナル者ナリ夏間ハ此地ニ在リテ

卵ヲ孵シ初冬ニ至レハ南方ニ遷徙ス又此鳥ハ

夜間ノ者ニシテ其餌食ヲナス等多クハ夜間ニ

アリ亞米利加山鵲ハ形體及習作大ニ前種ノ歐

羅巴産ニ類似スレドモ之ヨリハ稍小ニシテ種

々々斑點アリ

反嘴鵲名和 此鳥ハ長身鳥ノ一屬ニシテ長嘴ヲ

具スルコト杓鵲ニ類似レ常ニ沼澤ニ棲息シテ

蟲類及小蟲ノ地蠶ヲ餌食シ夜間群ヲ成シテ遷

徙ス此遷徙ヲナスハ特ニ月夜ニアリト云フ又

此鳥ノ種ハ四個アリテ其二種ハ亞米利加産ニ

シテ他ノ二種ハ外國産ナリ大雜色反嘴鵲ハ

身長サ一尺九寸許此の孫反嘴鵲ハ身長一尺六

博物志卷七

三九

文部省

寸許アリ共ニ亞米利加産ノ種ナリ  
 黍鷓キヒシギ名和 此屬ノ某種ハ兩大陸ノ北方ニ多ク棲  
 息シ群ヲ成シテ卵ヲ孵ヘシ又能ク遷徙ス常ニ  
 沼池及大洋近傍ノ砂濱ニ住ミテ小サキ介類蟲  
 類ヲ餌食ス又此鳥ハ漂泊ヲナシテ北極地方ノ  
 郊野ニ至リ其卵ヲ孵スコアリト云フ  
 サンテル、リシグ屬 此屬中ニテ兩大陸ノ北方  
 ニ棲息スル者ハ只一種アルノミ此屬ハ身長八  
 寸許羽ハ黑白赤ノ三色ヲ雜ヘタル者ニシテ屢  
 大洋ニ接スル砂濱ニ來リ數百隻ノ群ヲナシテ

濱邊ヲ奔走シ忙シク砂暇介類並ニ海中ニ産ス  
 ル小蟲類ヲ拾ヒ時々哀愁ナル細聲ヲ發ス云  
 縹領鵲屬 此屬中ニテ認知シタル者ハ只一種  
 アルノミ此種ハ北半球ノ寒帶及温帶地方ニ群  
 ヲ成シテ棲息シ高緯度ノ地ニ於テ卵ヲ孵シ冬  
 寒ノ將ニ近ツカントスル時ハ更ニ氣候温和ナ  
 ル地方ニ遷徙スト云フ其雄ハ頸ノ周圍ニ縹領  
 様ノ長キ羽アリ故ニ之ヲ縹領ト名ク又其雌ヲ  
 通繩ト稱ス身長一尺許ニシテ通常ノ羽ハ褐色  
 ナレドモ氣候ニ依リテ甚シキ變化アリ屢沼池

博物志卷之六

一 來リ蟲類小蟲類ヲ拾ヒテ之ヲ餌食ス  
浮信鳥ウキチドリ名和屬 此屬ハ黍鷓ニ類似シテ  
最小ナル者ナリ只湖水ニ棲息スルノミナラス  
勇敢ニシテ危嶮ヲ冒シ海上ニ棲處セリ北氷洋  
ノ岸邊ニ於テ常ニ群ヲ成シ其飛翔スル甚容易  
ニシテ且雅致アリ其地上ニ在ル時ハ又能ク迅  
速ニ驅走スト云フ此屬ノ種ハ四個アリテ皆亞  
米利加ニ棲息シ其中二個ハ歐羅巴ニ於テモ亦  
尋常ノ者タリ赤嘴浮信鳥ハ身長七寸許羽灰色  
ニレテ北極地方ニ棲息スル者ナリ

亞米利加アメリカ浮信鳥 此鳥ハ身長一尺許羽褐色ニ  
シテ前者ヨリモ南緯ノ地ニ住シ亞米利加内地  
ノ湖上ニハ多ク棲息セリ灰色浮信鳥ハ南大陸  
ノ北極圈内ニ棲息スル者ナリ平地浮信鳥ハ某  
人ノ説ニ前者ト同種ナリト想定スレドモ餘人  
ハ又別種ノ者ト想定セリ右數種ハ往々合衆國  
ノ海濱ニ來ルコトアリト云フ  
轉石鳥ウマツトビ即京女鷓キョウメ名和 此鳥ハ黍鷓ニ類似シテ小  
蟲類ヲ搜索スル爲ニ嘴ヲ以テ善ク石ヲ轉倒ス  
ルノ習作アリ故ニ之ヲ轉石鳥ト名フ其屬ハ只

博物志卷之六

文部省



一種ヲ有スルノミニテ亞米利加海岸ノ各所ニ  
於テ尋常ノ者タリ常ニ北部ノ峻峻ナル地方ニ  
テ卵ヲ孵ヘレ身長一尺五分許羽ハ黑白赤ノ三  
色ヲ錯雜スト云フ

刀嘴鳥義譯 此鳥ノ種ハ二個アリ一ヲ掘土刀嘴スクリンク

鳥ト曰シ一ヲ亞米利加刀嘴鳥ト曰フ此鳥屬ノ

固有ナルトハ其嘴ノ形ナリ嘴形ハ恰モ上ニ曲

タル鈎ノ如ク其長サ三寸五分許アリ脚モ亦長

クシテ足ニ蹠ヲ具セリ掘土刀嘴鳥ハ常ニ以テ

利ニ棲息スル者ナレトモ冬間ハ英蘭ノ海岸ニ

住ムト云フ亞米利加刀嘴鳥ハ紐折爾西州ケ

フノトシノ住民ナル訟師アウラシノ名ツク者ニテ屢

紐折爾西ノ鹹水ノ沼ニ来リ高サ數寸ナル海草

及枯草中ニ巢ヲ造構ス右二種ハ其嘴ヲ以テ

地中ヨリ蟲類小蟲類ヲ掘リ出シテ之ヲ餌食ス

秧クヒナ鶏屬 此屬ハ世界ノ各所ニ居リ性卑怯ニシ

テ獨居セリ淡水ニ近接シタル蘆草等ノ多ク生

スル沼一於テ棲處ニ容易ニ行歩スルト頗ル迅

速ナリ又其游泳スルトヨリモ却テ水面ヲ掠去

ルト多シト云フ且自好ミテ爲スニ非レドモ能

ク水ヲ潛ル者ナリ此屬ハ甚遠隔シタル地方ニ  
遷徙スヘキ者ニシテ晝間ハ餌食ヲ索ムルヲ甚  
稀ナリ其食料ハ蟲類小蟲類植物種子等ナリ  
拍者秧鷄 此鳥ハ泥批鷄ト名クル者ニシテ身  
長一尺四寸許帶黃褐色ナリ合衆國ノ中部及南  
方ニ於テハ尋常ノ者ニシテ間斷ナク高調ノ嚴  
シキ鳴聲ヲ發ス特ニ夜間ハ此聲ヲ聞クヲ多シ  
ト云フ  
勿爾吉尼秧鷄即小拍者秧鷄 此鳥ハ前者ヨリ  
小ニシテ酷歐羅巴産ノ水秧鷄ニ肖タリカカリ

大秧鷄即ソリハ合衆國温帶地方ノ蘆ノ多ク  
生スル河岸ニ夥多棲處ス若レ石ヲ採ルテ此鳥  
ノ群中ニ投スル時ハ皆蘆中ニ潛匿シテクツト  
スクト云フ叫聲ヲ發ス其肉ハ割烹ニ供シテ  
甚貴重スベキ者ナリ故ニ之ヲ銃獲スレノ數モ  
亦甚大ナリト云フ  
此鳥ハ身長九寸許羽帶黑褐色ナリ  
艶胸秧鷄ハ稀少ノ鳥ニシテ罕ニ之ヲ認知スル  
ノニ其身長ハ七寸五分許ニシテ多クハ亞米利  
加ノ北地ニ居リ其ヨリ西方ノ内地ヲ過キニ遷

徒ヲナスト云フ

滑頂オホバン 此水鳥ハ其體鴨ニ類似スレドモ嘴ハ狹

クレテ尖銳ナリ其種數多ニシテ皆常ニ曲江及

海灣ノ水中ニ棲ミテ大洋ニ出ルコトナク毎ニ小

蟲類及水草ヲ餌食ス歐羅巴ノ尋常骨頂ハ身長

一尺五寸許羽ハ石盤色ニシテ頭ト頸トハ黒色

ナリ亞米利加骨頂モ亦之ニ類似ス馬達加斯

於テハ膝上ニ赤綠黃三色ノ環ヲ具レ頭上ニ赤

冠ヲ戴キ羽ハ帶黒藍色ナル骨頂ノ一種アリト

云フ

水鷄ガレトリ 此屬ハ秧鷄ニ似テ容易ニ水中ヲ游泳

レ又速ニ陸地ヲ驅走レ常ニ小蟲類及草木ヲ餌

食スル者ニシテ其種數多アリ陸地秧鷄即「コル

ン、クラーク」斑點水牝鷄、即斑點秧鷄歐羅巴ノ水

牝鷄亞米利加ノ紫色水鷄即佛勒里達水鷄是ナ

リ其中紫色水鷄ハ歐羅巴ノ水牝鷄ニ肖タル

者ナリ

火鷄 此鳥ハ其種二個アリ一ハ亞米利加ニ棲

ミ一ハ東大陸ニ住ス其體ハ小ニシテ頸ト脚ト

ハ細ク身長四尺許光澤アル赤色ノ翼ヲ除クノ

博物志卷之十

第十圖



火鵞

外ハ全羽皆薔薇色ナリ此鳥ノ一群ヲ望メバ恰モ兵卒ノ一隊ヲ見ルガ如シト云フ其足ニ蹼アリ常ニ魚類ヲ食フ昔時ノ羅馬人ハ火鵞ノ舌ヲ以テ甚美味ノモノトシ之ヲ貴重ゼリト云フ

第六目 掌足類

鵞鵝ハカ此屬ハ屢鹹水並ニ淡水中ニ來往シテ水面ヲ游泳シ且水中ニ入りテ長久ノ時間ヲ過ク又時トシテハ深處ニ投スル海網ヲ以テ捕ヘ得

ルホトノ水底ニ沈潜スルト云フ蓋此屬ハ全ク水中ニ在リテ行歩棲息睡眠遷徙等ヲ為ス者ナレハ強テ之ヲ名ツケテ水中ノ魔術者ト稱ス又此屬ハ枯草ヲ以テ蘆中ニ巢ヲ造リ自己ノ胸部ニ生スル絨毛ヲ以テ能ク之ヲ被覆スト云フ

鵞鵝ニハ數多ノ種類アリ帶黒褐色ナル有冠鵞鵝赤色頸鵞鵝淡黒鵞鵝即角様鵞鵝小鵞鵝即黒色頸鵞鵝等是ナリ右ノ種類ハ皆東大陸ノ寒帶地方ニ棲處セリ

博物學 卷下 三六 文部省

海鵜屬 此屬ハ其種三個アリテ常ニ水面ニ棲息シ屢最深ノ江河若クハ海灣ノ水底ニ沈潜スル者ナリ其地上ヲ行歩スルハ困難ニシテ飛翔フルモ亦稀少ナリ故ニ遷徙ヲナスニ方リテ多クハ游泳ス而シテ多クハ魚類ヲ餌食スト云フルカニ即大北方海鵜ハ身長二尺九寸許一般ニ北半球中北方ノ河ニ棲處シテ最尋常ノ

第十十六圖



大北方海鵜



赤色喉海鵜

者タリ其羽ハ表面黒色ニシテ白色ノ小斑點ヲ帶ビ裏面ハ全ク白色ナリ其性戒嚴ナル者ニシテ寂寥タル島嶼ニ於テ卵ヲ孵スト云ノ黒色喉海鵜ハ身長二尺六寸許赤色喉海鵜ハ身長二尺九寸許ナリ此二種ハルウント同河ニ棲息スル者ナリ

者タリ其羽ハ表面黒色ニシテ白色ノ小斑點ヲ帶ビ裏面ハ全ク白色ナリ其性戒嚴ナル者ニシテ寂寥タル島嶼ニ於テ卵ヲ孵スト云ノ黒色喉海鵜ハ身長二尺六寸許赤色喉海鵜ハ身長二尺九寸許ナリ此二種ハルウント同河ニ棲息スル者ナリ

海雀屬 此屬ハ其種類五個アリテ皆雨大陸ノ北地ニ棲息スルモノナリ其五種ハ即黒色海雀、雜色海雀、愚癡海雀、大嘴海雀、小嘴海雀等是ナリ此種類ハ荒漠ノ野、峻峻ノ島海邊ノ巖

博物學 卷下 三六 文部省

博物學 卷七

第一千七百七十七圖



海雀

上等ニ棲息シ皆同一ナル習作ヲ  
 ナシテ蜂ノ如ク群集シ極メテ不  
 調ナル聲音ヲ發ス又此種類ハ禿  
 然タル岩礁上ニ於テ其卵ヲ孵ヘシ全ク魚類ノ  
 一ヲ餌食スル者ナリ其魚ヲ追ヒテ游泳シ水中  
 ヲ潛走スル情態ハ實ニ無雙ノ奇觀ト稱スヘシ  
 此種類中ニ於テ未詳ニ認知シ得ザル者モ亦マ  
 レアリト云フ  
 此鳥ハ企鵝ニ類似シテ大サハ鵝ノ如  
 ク羽ノ上部ハ黒色ニシテ下部ハ白色ナリ那威

第一千八百八十八圖



大トオトク

小トオトク

長九寸許ナリ

海ト鷗トノ屬 此屬ハ「マ」ト「レ」ニ類似スレドモ水  
 ヲ潛ル勢カアルヲ以テ之ト區別ス此屬ハ常ニ

綠洲、紐方蘭等ノ海岸ニ於  
 テ尋常ノモノナレバ性怯  
 懦ニシテ飛翔スベキ勢カ  
 ヲ有セス常ニ魚類ヲ餌食  
 ス一般ニ之ヲ「大」オトクトト  
 名ク又小「オ」オトクトハ歐羅巴  
 及ヒ亞米利加ニ棲息シテ身

博物志卷之六

海中ヲ漂泊シ淺渚及岩礁ニ來往シテ多クハ魚

海鷗哥



第十十九圖

類ヲ餌食ス「セ子レオース」海鷗  
哥即漂泊シ「ルヲ」ト「ル」ハ大  
西洋ノ各所ニ來リ特ニ暴風雨  
ノ時ハ魚類ヲ餌食セニガ爲ニ

波濤ヲ掠メテ冒迫スト云フ其身長一尺九寸許  
羽ハ灰色ナリ「マ」ニク「ス」海鷗哥即「シ」ルヲ「ト」  
ルハ兩大陸ノ北海ニ棲息シ身長一尺五寸許ニ  
シテ羽深黒色ナリ淡黒「ベ」ト「レ」ルハ前者ニ類似  
スレドモ稍小ナリ右種類ノ外「コ」ール「テ」ル「子」ガ

ス等亦包有餘於他ノ海鷗哥屬アリ

企鵝屬此屬ハ雌オ「ク」ニ肖テ赤道ヨリ南極  
圈マデノ間ニ棲息シ魚類ヲ餌食シテ甚迅速ニ  
游泳シ其飛翔スルヲ殆稀ナリ此鳥屬ハ往々上  
陸シ體ヲ直立シテ步行シ鵝ノ如キ鳴聲ヲ發ス  
其體中ニ脂膏多キヲ以テ善ク寒氣ヲ防キ海鷗  
ト伴フ結ビテ寂寥タル島上ニ巢ヲ造構ス有礙  
企鵝ハ身長二尺許羽黒色ニシテ「ハ」ル「ク」ラ「ン」ト  
諸島南亞米利加近傍ノ海濱ニ棲息ス巴他峨尼  
企鵝ハ身長四尺四寸許アリ此種類ノ他尚二三

種アリ

暴風鳥

此鳥ハ其類二個アリ一ヲ燕暴風鳥ト

名ケ一ヲ暴風鳥ト稱ス前者ノ中ニハ水夫ニ因

リテ名ツケラレタレモ一ノルカレリス、キツキ

ストルミ、ヘトル等ノ三種アリ右種類ノ習

作及相貌ハ皆同一ニシテ身長ハ六寸乃至七寸

五分許ナリ船舶ノ出帆スルニ方リテ船側ニ擲

棄スル食物ヲ求シガ爲ニ隨行シテ且浮浪セル

柔軟動物或ハ肉類等ヲ得ント欲シ頗注意シテ

以テ激浪ヲ諦視スト云フ

右種類ハ小鳥カレ凡ハ其餌食スベキモ

ヲ見ル時ハ突然噪飛シテ小片ノ食物ニ八九隻

モ相集リ水面ヲ歩ムガ如ク足ヲ以テ水ヲ打ち

拍々然トシテ之ヲ争ヒ波上ヲ輕快ニ飛翔スト

云フ又此種類ハ疾風暴雨ト雖凡狂瀾怒濤ヲ怖

レズ山ノ如キ大浪ヲ冒シテ殆ト狂氣セシ如ク

迅速ナル船舶ニ沿ヒテ前進シ勇猛ナル航海者

モ戰慄スル程ノ暴風雨ヲ絶テ意トセザル者ノ

如シ水夫ハ涯岸遠キ洋中ニ在リテ常ニ前種ノ

小鳥ヲ見ルニヨリ此種類ハ卵ヲ其翼下ニテ暖



メ洋中ニ於テ之ヲ孵スト想像スレドモ其實ハ  
巴哈馬及ヒルミダノ岩礁多キ海濱ニ至テ之ヲ  
孵スナリ又水夫ハ此鳥種ノ船後ニ隨行スル時  
ハ暴風雨或ハ難船ノ前兆ナリト想像スト云フ  
暴風鳥ノ他種ハ地球中最寒地方ノ荒廢シタル  
島ニ棲シ他ノ諸鳥ヨリハ杳然トシテ遠ク洋中  
ニ出テ長翼ヲ張テ波濤上ニ休息シ更ニ身體ノ  
勞スルヲナク風ニ隨テ前進ス其餌食ハ魚類并  
ニ柔軟ナル動物ニシテ若人ニ侵襲シテ困苦  
スル時ハ之ニ向ヒテ油ヲ噴出スルハ勢カヲ有

セリ其種二個アリテ一ハ巨人暴風鳥ト云ヒ一  
ヲ「ホルマル」暴風鳥ト云フ前者ハ身長四尺許  
淡褐色ニシテ白色ノ斑點アリ水夫ハ之ヲ「モ  
ソルカリース」ト名ク亞米利加大陸ノ兩  
端ニ棲息セリ又後者ハ身長一尺七寸許上部灰  
色下部白色ナリ又此鳥ハ直ニ其行爲ヲ以テ命  
ツレバ暴風雨鳥ト稱ス可キ者ニシテ暴風鳥怖  
レズ安然トシテ波上ニ駕シ好シテ最荒寒ノ地  
方ニ棲息スト云フ  
「ホルマル」暴風鳥ハ鯨獵船ニ隨行シテ水夫ノ

博物學 卷之六 四

鯨ヲ捕ハ之ヲ截斷スルヲ待チテ直ニ此貪食ナ  
 鳥ハ數千隻船舶ノ後ニ止リ浮泛流行スル處  
 ノ鯨肉ヲ看守レ之ヲ充分各自ノ口ニ滿テンガ  
 爲ニ互ニ争鬪スト云フ此鳥ハ「レントキルタ」此  
 島鳥群ニテ卵ヲ孵シ島人ノ爲ニハ緊要ノ者ニ  
 シテ其肉ヨリハ油ヲ搾リテ之ヲ燈火ノ用ニ供  
 シ其毳毛ハ寢床ノ用ニ供スル者トリ  
 海鵝アムカド 此鳥ハ鵝ヨリ稍大ニシテ熱帶地方ノ海  
 濱ニ棲息シ常ニ魚類ヲ餌食ス又時トシテ小  
 ナル水鷄アムカドヲ食ヒ通常企鵝ト伴ヲ結ヒテ寂寥ナ

第十二圖



海鵝

此鳥ニ就テ多ク疑迷ヲ抱ク  
 者ナリ又此鳥ハ漂泊企鵝クワカ即  
 軍艦鳥ト稱ス其種三個メニオワケルアレ  
 ドモ皆此鳥ヨリ小ナリ  
 此鳥屬ハ各地方ノ海濱ニ住シテ其種許  
 多アリ常ニ數百隻群ヲナシテ活魚或ハ死魚ヲ  
 搜索スル爲ニ海濱ニ到リ之ヲ獲レハ極メテ貪  
 食ス其性恠怯ニシテ争鬪ヲ好ミ鬨噪貪饕シテ  
 屢故ナキニ互ニ攻撃ヲ爲スアリ又烈風ノ際

博物學 卷七

第一千二十一圖



鷗屬

ト雖ドモ多時迅速ニ飛翔スト云フ其鳴クハ清亮ナル高聲ヲ發シ飛翔ノ間ニ於テ屢其聲ヲ反復スル者ナリ鷗屬ノ主眼ヲ

ル者ハ黑色頭鷗及黑色脊鷗ニシテ黑色頭鷗ハ

一名笑鷗ト稱ス其名ヲ得タル所以ハ大聲ニテ

笑フガ如クハアハアハアト云フ叫聲ヲ發スルニ因

リテナリ

黑色頭鷗ハ餌食ノ爲ニ魚類ヲ捕ヘ或ハ身ヲ水

中ニ投スル際往々喘タル笑聲ニ似タル所

オホオホト云フ奇聲ヲ發スル者ナリ

又黑色頭鷗ハ甚善ク人ニ狎馴シ餘殘ノ魚類

食ハンガ爲ニ漁人ノ跡ニ隨行ス此鳥ハ兩大陸

共ニ棲息シテ其遷徙スル時ハ數百隻會合シ螺旋

狀ヲナシテ空中ニ昇騰シ衆議ヲ一決シテ然

ル後皆一線ニ隊列ヲ立テ南方ニ飛去スト云フ

黑色脊鷗即サドルヘッキ<sup>シ</sup>鷗ハ海鳥中ノ最モ猛

惡ナル者ニシテ其餌食スベキ者ニ逢フトキハ

絶エテ之ヲ憐ムノ情ナシ且此鳥ハ漁人ノ添飯

ヲ覬覦シ或ハイ<sup>レ</sup>テ<sup>ル</sup>鴨<sup>シ</sup>及其卵ヲ攫捉シ或ハ

水中ニ入リテ蟹類龍蝦類ヲ捕獲シ或ハ鼯鼠鼠  
兔ヲ獵シ屢水揚雉鳩ヲ追ヒテ其卵及雛ヲ食フ  
此貪食ナル鳥種ハ兩大陸共ニ棲息スル者ニシ  
テ其最モ尋常ノ種ハ合衆國ノ海岸並灣港ニ於  
テ常ニ之ヲ見ルト云フ

建華鳥屬アガナレ即海燕義譯此屬ハ群ヲ成シテ各所ノ

海邊ニ棲息レ絶ズ空中ニ高飛シテ四邊ノ餌食  
スベキ者ヲ追捕スルニ其勢恰モ身ヲ水中ニ投  
タル如ク驀然トシテ之ニ衝突ス其餌食ハ魚類  
及水鳥ノ雛等ニシテ其鳴クトキハ銳聲ヲ發シ

其種類ハ歐羅巴及亞米利加ニ於テ尤多キ者ナ

リハシ此鳥ハ建華鳥即海燕ハ一種ニシテ大

洋各所ノ濱涯ニ居リ身長一尺五寸許白色ノ頭  
頂ヲ除ク外皆帶黑褐色ナリ其性鬧噪ナル者  
ニシテ屢船舶ノ網具ニ飛ヒ來ル往々之ヲ捕フ  
ルヲアレドモ注意セザレバ則烈シク人手ヲ啄  
ム者ナリ

ダイナシカモノ  
戰船鳥

此鳥ハ熱帶地方ニ住ミテ飛魚ヲ追ヒ

或ハ拙鳩ニ逼リテ其餌食ヲ吐出セシメテ之ヲ

奪フ常ニ陸地ヨリニ却テ遼遠ナル水上ニ飛翔  
 スレバ游泳潛沈スルコトナク又水面ニ休ムコトモ  
 ナクレテ翱翔セリ唯其卵ヲ孵ヘン雖ヲ育スル  
 爲ニ陸地ニ來ルノミ又此鳥ハ空氣ノ充滿シタ  
 ル袋狀ノモノヲ具シテ輕氣球ノ如ク其體ヲ空  
 中ニ支撐スト云フ  
 拙鳥 此鳥ハ水鳥ノ一ニシテ魚類ヲ餌食シ其  
 性ノ拙愚ナルガ爲ニ著名ノ者ナリ  
 スキンメル屬 此屬ハ頭ヨリモ長キ嘴ヲ具シ  
 テ徐々ニ鼓翼シ極メテ水面ニ接シテ颯飛シテ

第一千二十二圖



「スキンメル」

以テ餌食ヲ搜索シ若シ魚  
 ヲ認視スルトキハ則紙刀  
 如キ下頤ヲ水中ニ投シ  
 ロヲ開キテ之ヲ食フ此鳥  
 ハ多ク熱帶地方ニ棲息シ  
 テ更ニ游泳ヲナリズ其卵  
 ヲ孵マベキ岩礁附近ノ海  
 濱ニ於テ小群ヲナフト云

フ  
 黒色「スキンメル」即鵜賊「スキンメル」此鳥ハ亞  
 フレキチ

米利加温帶地方ノ灣中ニ棲ミテ身長一尺九寸許一方ノ翼尖ヨリ他ノ翼尖マテ一尺四寸許ナリ印度ニモ亦此鳥ノ一種アリト云フ

鵜

此鳥ハ其種許多アリ一ハ歐羅巴及亞米

利加ニ於テ尋常ノ種ナリ一ハ亞米利加固有ノ

種ナリ一ハ紐方蘭ノ種ナリ此諸種ハ皆貪饕ニ

シテ呻吟ニ似タル空音ノ喘聲ヲ發スル者ナリ

又水面ヲ飛翔シテ突然魚類ヲ攫ミ去リ之ヲ顯

下ノ袋中ニ藏ス魚類此袋ニ滿レバ則其貪食ス

、キ若上ニ到リテ之ヲ餌食ス

尋常鵜

此鳥ハ其蹠鳥類中ノ至大ナル者ニ

シテ太古ヨリ世人ノ能ク認知セル所ナリ蓋昔

者ハ此鳥其血ヲ以テ雛ヲ養育スルト想定セリ

其身長六尺許上部ハ白色ニシテ胸部ハ黄色ヲ

帶ブ凡此鳥ノ如ク遙ニ漂泊シ且氣候ノ異ナル

所ニ棲息スル鳥ナシ其棲處ハ兩大陸ノ各所ニ

在リテ陸上或ハ水中ニ大抵十二隻ツク群居シ

樹上ニ棲ムト甚稀ニシテ屢池沼河湖若クハ洋

海ニ往來スル者ナリ褐色鵜ハ亞米利加温帶

地方ノ海岸及西印度ノ海岸ニ居テ其習作ハ甚

前者ニ肖タリ身長四尺許帶黑灰色ニシテ嘴ハ赤色ナリ

鷓鴣セウモラント即「コルヴォラント」此鳥ハ其種許多アリテ

尋常鷓鴣コンモン、綠色鷓鴣グリーン、即粗毛鷓鴣セー、有冠鷓鴣クレスト、侏儒鷓鴣ドワーフ

亞米利加粗毛鷓鴣等是ナリ此諸種ハ皆能ク

游泳シ巧ニ水ヲ潛リテ河魚ヲ餌食シ特ニ鰻鱺エール

第二十圖



鷓鴣セウモラント

ヲ食フ大概身長一尺六寸乃至二尺四寸許體ハ肥大ニシテ重ク甚ク貪饕ニシテ絶エズ餌食ヲナレ決シテ飽カザルガ如シ英

國ニ於テ嘗テ此種類ヲ馴致シテ魚類ヲ捕ヘレ

メタリシガ支那ニテハ見今モ尚之ヲシテ魚類

ヲ捕ハシムト云フ此鳥ノ捕魚ノ術ニ長シタル

ヲ以テ知ル可キナリ

蛇頸鳥 此奇鳥ハ其種唯二個アルノミ一ハ黒

色腹蛇頸鳥一ハ白色腹蛇頸鳥ナリ此二種ハ海

ヲ隔タル淡水ニ棲息シ決シテ行希スルヲナク

又又シテ飛翔セズ河流ニ傾キタル樹上ニ止マ

リ若シ驚愕スル時ハ樹上ヨリ轉落シテ水中ニ

沈潛シ遙ニ下流ニ赴キテ顯出ス其頭ハ水上

ニ抽キタル景狀ハ恰モ蛇ニ鬣タリ又此種類ハ長キ頸ト銳キ嘴トヲ以テ魚類ニ衝突レ之ヲ捕ヘテ餌食ス其棲處ハ兩大陸ノ温帶地方ニシテ或ハ之ヲ蛇鳥ト名ク

熱帶鳥 此鳥ハ南海航客ノ熟知セル者ニシテ

身長二尺八寸許羽ハ紅色脚ト嘴トハ黑色ナリ其陸地ニ來ルハ樹上ニ於テ卵ヲ孵ヘシ或ハ之

ニ上ルガ爲ナリ此鳥ハ

鵞屬 此屬ハ水鳥中ノ最大ナル者ニシテ河湖

水中ニ住リ從容トレテ游泳シ水底ニ長頸ヲ

第一千二百四十四圖



鵞

類ハ鵞類ト鴨類トノ中間ナル性質ヲ有スル者ナラン 搜入シテ植物及水中ノ動物ヲ餌食シ人家ニ遠キ水邊ノ地上ニ巢ヲ造構ス此屬ノ種ハ少ナレドモ其區分甚粗ナリ蓋此種

馴鵞即啞鵞 此鳥ハ身長五尺許ニシテ嚕西亞

西伯利ノ郊野及英國ノ各所ニ棲息セリ英國ニ

テハ之ヲ馴養シ其美麗ニレテ且温雅ナルガ爲

ニ之ヲ貴重ス其羽色ハ純白ナリ野鵞即嘯鵞ハ



前者ノ如ク美麗ナラスレテ屢兩大陸北地ノ海岸ニ往來スル者ナリ又此鳥ハ大群ヲ成シテ遷徙シ容易ク迅速ニ飛翔シテ高調ノ銳聲ヲ發シ特ニ春天ニ近ツケバ屢此聲ヲ發ス古人謂フ鳥ノ將ニ死セントスル時好音ノ美聲ヲ發スト云ヘルハ恐クハ此鳥種ナラン其故ハ古人此馴鵠テムスワンナルモノヲ認知セザレバナリ

**黒色鵠** 一レッキスワン 此鳥ハ新和蘭ニ固有ノ者ニシテ形體ハ馴鵠ノ如ク羽色ハ深黒嘴色ハ深赤ニシテ性極メテ惟怯若シ驚怖スル時ハ直線ニ飛去ルト

云フ「ビーク」ス鵠ハ屢北海ノ瀕岸ニ往來スル者ニシテ身長四尺七寸許羽色純白ナリ刺ハトスワン身長六尺許亞米利加地方ニ最モ尋常ノ者ニシテ佛蘭西ニテ用井ル喇叭ノ如キ聲ヲ發スル爲ニ著名ノ者ナリ

**雁** 此鳥ハ鴨類及鵠類ニ等シキ者ニシテ博物家ハ之ヲ「アンナ」均平ト云フ義ト名クル屬中ニ列セリ野生ノ雁屬ハ戒嚴ナル者ニシテ視官尤銳ク長キ集合線ニ列ヲ立テ群ヲ成テ飛翔シ其一隻必ス之ヲ先導スト云フ此鳥ハ少シク游泳シ深ク

水中ニ沈ム者ニシテ植物魚類爬蟲類ヲ餌食ス  
其種ハ數多アリテ皆世界中ニ散布セリ  
野鵝 此鳥ハ尋常鴈ノ本原ナリ其他ノ種ハ

第一千二百五圖



雪雁、笑雁、豆雁、螺雁、點青雁等ニ  
シテ皆兩大陸ニ棲息セリ英蘭  
ノリニコロシールハ甚多ク  
鵝類ヲ飼畜セル地ニシテ往々  
一人ニテ十隻ヲ畜養スル者アリ  
蓋鵝類ハ一年ニ二度其羽ヲ  
取り一年ニ五度羽莖ヲ取ルナ

リ又鵝類ノ長壽ニシテ八十年乃至百年ノ齡ヲ  
保ツト云フ

ガント即鈍鵝

此鳥ノ種類ハ多ク兩大陸ノ北  
方ニ居リ身長二尺六寸許羽白色ニシテ少シク  
黒色ノ斑點アリ海中ノ荒地及岩石多キ島ニ無  
數棲息シテ其水ヲ潜ルコト歩行スルコトハ難ク  
シテ稀ニ游泳シ餌食ヲ爲ス時ハ鼓翼シテ水ヲ  
拍ツト云フ又北亞米利加シント、ローレンシノ  
灣中ニ數百ノガント屢往來スルガ爲ニガント  
岩ト名ケタル一個ノ岩アリ遙ニ之ヲ望メバ恰

モ雪塊ノ如シ又シントキルダ島ノ住民ハ專此鳥卵ヲ食シ希比利的島ニテモ亦此卵ヲ取ルル夥シト云フ

鴨屬 此屬ニ列スル鳥類ハ極メテ夥多ニシテ

嘴ノ廣キト脚ノ短ク且

甚後方ニアルトヲ以テ

鵝ト區別ス此屬ハ透達シ

タル姿態ニテ地上ヲ行步

シ常ニ水上ヲ家トナス者

ナリ其飛翔スルト輕快迅

第一千二百六十六圖



鴨

速ニシテ高抗シ鏘然トシテ鼓翼フ響アリ夜間

ニ至レハ殊ニ屢飛翔ヲナス又此屬ハ秋冬ノ間

海岸ニ近ツキ他時ハ屢淡水ノ池沼湖河ニ來リ

植物及水中ノ動物ヲ餌食スル者ナリ

尋常鴨即水鴨 此鳥ハ家畜鴨ノ本原ナリ 推放

者ハ嘴ノ廣キガ爲ニ著名ニシテゲイトワル即

第一千二十七圖



推放者

灰色鴨ハ水鴨ト相伴フ者ナリ

尾長鴨名即冬鴨ハ美麗ノ種ニ

シテ味ノ美ナルガ爲ニ人々之

ヲ貴重セリ亞米利加水鴨即ハ

ルトベイトハ歐羅巴氷鷺ニ類似シカシバアス、ベツ  
キト相伴フ者ニシテ屢カシバアス、ベツキノ引拔タ  
ル植物ノ根ヲ奪掠スト云フ

淡黒色鴨ハ其種數多アリテ氷鴨ニ類似セリ須  
鴨即木鴨ハ鴨類中最モ美麗ノ者ニシテ枯木ノ

空窩中ニ巢ヲ造構ス藍色翼小水鴨ハ割烹ニ供  
シ甚之ヲ貴重セリ大翼小水鴨ハ氷鴨ト同伴

スル者ナリ麝香鴨即大鴨ハ判然ト麝香ノ芳薰  
ヲ放ツ者ナリ右ノ種類ハ皆足ノ大趾ニ膜ヲ具

セズ又海鴨ト名クル者ハ甚容易ニ游泳シ或ハ

第一千二百八圖



水ヲ潜ルニ適應ス其膜ヲ具

有セリ此鳥ハ大群ヲ成シ遷

徙シ屢深河ニ來テ餌食及快樂

ノ爲ニ甚深ク沈潜スト云フイ

トデル鴨ハ絨毛ノ柔軟ナルガ

爲ニ著名ニシテ王鴨ハ殆ド前

者ニ等シキ者ナリ

黒色鴨即打浪鴨此鳥ハ甚善

ク水ヲ潜リ食用ノ爲ニハ貴重ナラサル者ニシ

テ往々海骨頂ト稱ス剪絨鴨モ亦往々白色翼骨

頂ト名ツクスコタルト鵝ハ剪絨鴨ニ類似シ赤色  
 鴨ハ淡黑色鴨ト名ケテ波士敦ノ市場ニ販キ割  
 烹ニ供シテ甚貴重セリ雜色鴨ハ屢砂洲ニ往來  
 スル者ニレテ一名洲鴨トモ稱ス帆布脊鴨ハ世  
 人ノ熟知セル者ニテ其肉ハ甚美味ナリ蓋此鳥  
 ノ美味ナルハ思フニ大葉藻ヲ餌食フル故ナラ  
 シ「ボチャルド」ハ前者ニ類似シ又能ク前者ニ伴フ  
 者ナリ

沼地鴨ハ通常藍色嘴ト名ツケ環頸鴨ハ性温和  
 ニレテ美麗ノ者ナリ金色眼鴨ハ亞米利加土人

ノ精神鴨ト稱スル者ニレテ即亞米利加砲手ハ  
 之ヲ黃銅眼アイ肅者ト呼ブ俗人鴨ハ羽色及斑點ノ  
 美麗ナルカ爲ニ紐方蘭ノ漁人ハ之ヲ貴族鴨ト  
 稱ス長尾鴨ハ金色眼鴨及伶人鴨ノ如ク胸部ニ  
 柔軟ナル絨毛ヲ有スル者ナリ  
 總ヘテ右鴨種及其二三種ハ皆亞米利加ノ河湖  
 等ニ屢往來シテ亞米利加水鷺淡黑色鴨樹鴨藍  
 色翼小水鴨麝香鴨打浪鴨赤色鴨雜色鴨帆布脊  
 鴨環頸鴨等ヲ除クノ外ハ皆歐羅巴人ノ認知セ  
 ル者ナリ其他外國ノ種ハ枚舉ニ遑アラズ

鋸嘴鴨屬 アガサ 此屬ハ酷鴨類ニ肖テ水中ニ棲息シ  
 テ魚ノ如ク速ニ游泳シ且水ヲ潛ルル太容易ナ  
 其棲處ハ寒國ニシテ魚類及爬虫類ヲ餌食シ  
 夏間ハ湖ニ行キテ卵ヲ孵ヘシ冬間ハ海ニ出ル  
 者ナリ此屬ノ種ハ五個アリ其二ヲ亞米利加固  
 有ノ者トシ其三ハ亞米利加及歐羅巴ニ居ル者  
 トス  
 河鋸嘴鴨 カハヘイチ 赤胸鋸嘴鴨 シロフスチムルカニセル スミエト即巫女鋸嘴鴨ハ兩  
 大陸ニ居リ被衣鋸嘴鴨ハ亞米利加固有ノ者ナ  
 リ赤胸鋸嘴鴨ハ帶綠黑色ニシテ身長二尺許被  
 衣鋸嘴鴨ハ身長一尺六寸許頭上ニ各色ノ長冠  
 ヲ具シ甚美麗ノ者ニシテ往々多毛頰鳥ト名ツ

衣鋸嘴鴨ハ身長一尺六寸許頭上ニ各色ノ長冠  
 ヲ具シ甚美麗ノ者ニシテ往々多毛頰鳥ト名ツ  
 茲ニ第二綱禽類ノ一部ヲ畢ヘタリ其種類ハ皆  
 有脊動物ニ屬スレドモ哺乳動物トハ外部ノ造  
 構形體習作ハ固ヨリ内部機關ノ構造ニ至ルマ  
 デ全ク相異ナリ其肺ハ胸部ニ在リテ兩傍ニ分  
 レズ只一塊ト爲リテ腹中ノ肋骨ニ附着シ體ノ  
 各部ニ遍通スベキ空氣ヲ容ルガ爲ニ大孔ヲ  
 穿チタル膜ヲ以テ之ヲ被ヘリ故ニ呼吸ノカラ

體中ノ各部ニ分與ス思フニ此妙巧ナル機關ノ  
 主趣ハ全體ニ固有ノ勢力ヲ賦與スル者ナラシ  
 鳥類ハ二足ノ動物ニシテ腕ト手トノ代ニ飛翔  
 スヘキ翼ヲ具シ嘴ヲ以テ諸物ヲ拾フ又其羽ハ  
 一年ニ二度脱換變化スル者ニシテ某種ハ冬羽  
 ト夏羽トハ其色異ナル者アリ然レドモ大概雌  
 鳥ハ雄鳥ノ如ク著明ナラズ又鳥類ハ一般ニ哺  
 乳動物ニ比スレバ腦ヲ有スルト多シテ記憶及  
 想像アリ其故ハ鳥類ハ皆能ク夢ヲ結フ者ナリ  
 又大氣ノ變化ヲ先知シ豫メ天氣ヲ量ル者ニシ

テ昔時ノ人ヲシテ天氣ヲ豫知スルトノ權ヲ鳥  
 類ニ歸セシト云フ

第千二十九圖



鳥ノ骸骨

恰ニ磨石ノ間ニ穀物ノ入りクルガ如ク全ク其  
 食料ヲ貯ヘ置クベキ場處ナリ又鳥類ノ食シタ

レテ胃ハ三個ノ部ヨリ成レ  
 リ即食道ニ接スル鳥健食物  
 ヲ滋潤スヘキ數多ノ腺アル  
 膜胃二個ノ強キ筋ヲ備ヘタ  
 ル鳥腕是ナリ但レ此鳥腕ハ

鳥ノ食  
 手  
 大  
 小

ハ砂ハ此二筋ノ磨擦スル運ハタケ營ヲ助ケト云フ

神原芳野校

具氏博物學卷七終



